

## 会員だより

### 献血ボランティア活動について!

道建協会員の皆様、こんにちは。暑さも徐々に和らぎ、めっきり秋めいてきました。今回は、去った7月21日に弊社が開催した献血ボランティア活動についてご紹介したいと思います。

弊社は、那覇本社が那覇市港町にあった昭和62年から献血ボランティア活動をスタートしました。毎年の恒例行事として平成21年11月に本社を那覇市高良に移してから継続しており、今回で25回目を迎えました。

毎年、多くの方々から献血のご協力を頂き、昨年で献血者数がトータル2,000人を超えました。今年も6月頃から社員や協力会社への声かけやFAXで参加の呼びかけ、社内や現場事務所にチラシやポスターを貼って告知を行いました。

献血当日は若手社員や女性社員が朝早くから夕方までローテーションで車の誘導係や受付係等のスタッフとして活動し、スタッフ以外の社員も仕事の合間をぬって献血に参加し、おかげさまで今年は276人が受付し、205人の献血者数を達成することができました。

今後も継続し、社会貢献の一環として、献血ボランティア活動ができるように社員一丸となって頑張っていきたいと思います。

献血の様子



献血者数トータル2,000人達成



【営業部：當間 司】

## 会員

### 久米島での事業紹介!

道建協・沖繩支部の皆様、大変お世話になっております。今回は、弊社の離島(久米島)での事業をご紹介します。

昭和52年に島尻郡仲里村(現・久米島町)に、製造能力時間当たり30トンのアスファルトプラントを設置し、地元建設会社の二次工事(下請)を主体として、これまで久米島島内の約30kmにおよぶ一周線や町道、生活道路、農道、店舗駐車場そして、久米島空港の滑走路に至る、全てのアスファルト舗装工事を手掛けさせて頂いております。

加えて、近年久米島の観光スポットであるイービーチ地区の県道久米島一周線に“琉球石灰岩舗装(コーラル舗装)”が導入され、景観舗装にも関与させて頂いております。弊社社内では、『地域密着』をスローガンに久米島町内の行事にも積極的に参加し、中でもコースが全て自社施工である(当たり前ですが)久米島マラソンには、他の大会では味わえない誇りを持って全てのクラス(フルマラソン、ハーフマラソン、10kmマラソン、

5kmマラソン)に毎年参加しております。弊社は今後も、しっかり地域と連携し離島でのインフラ整備(離島振興)に参画して参ります。



空から見た久米島空港



久米島マラソンゲート



アスファルトプラント



琉球石灰岩舗装

## 活動報告・トピックス



### ①平成29年度 南・北両国道事務所と道建協沖繩支部との意見交換会

#### 円滑施工を推進、課題の解決に向け意見交換!

(一社)日本道路建設業協会沖繩支部では、9月8日(金)宜野湾市のカルチャーリゾートフェスターネで平成29年度南・北両国道事務所と道路建設意見交換会を開催しました。意見交換会には会員31社43名が参加しました。与那嶺支部長は「両国道事務所との意見交換は、発注者と施工者が施工実施における問題を解決していく上で、極めて重要であり、支部活動の中でも最重要活動と考えている。国からの時宜を得た指導、助言は必要であり、それぞれの立場から忌憚のない意見交換をお願いしたい」と挨拶しました。

崎間北部国道事務所長は、「多岐にわたる提案議題から現場の困難な状況がうかがえる。課題解決に向け発注者として応えていきたい」と挨拶しました。小幡南部国道事務所長は、「道路整備はまだ必要であり、現場の技術力が支えとなる。そのためには、応分の利益の確保や労働環境の改善が、業界の健全な発展に資することになる。」と挨拶しました。



開催の挨拶をする与那嶺支部長



北部国道事務所 崎間所長の挨拶



南部国道事務所 小幡所長の挨拶

## 今月の予定

- ①第3回技術・積算委員会 支部会議室  
10月5日(木) 11:00 ~ 13:00
- ②第2回常任幹事会 支部会議室  
10月24日(火) 12:00 ~ 13:30
- ③平成29年度 AED贈呈式 「道の駅いとまん」  
10月24日(火) 15:00 ~

挨拶に引き続き各機関の事業概要説明の後意見交換に入り、「入札及び契約に関すること」「現場施工上の問題」「安全管理上の問題」「積算上の問題・疑問」等について活発な意見交換となりました。道建協からは、沖総局がICT活用工事の普及拡大を目的に、沖縄では他地域より工事規模を縮小して活用しているが、標準積算規準に基づいて積算すると実施の工事費と乖離がある。規模を縮小した場合は、見積金額の導入や補正值の採用等の見直しが出来ないかと提案した。

国道事務所側からは、「今後県内の実態を確認した後に本省と調整を図って行きたい。」との回答があった。また、全国で実施されたICT活用工事においても積算基準と実際の費用に差があったことから、本省に於いても積算基準の見直しが検討されているとの説明があった。他にも、支部からは業界の実情を踏まえた発言があるなど、最後まで活発な意見が交わされ閉会となりました。意見交換会終了後に懇談会が行われ、会員各位と懇親を深めながら懇談会は盛会のうちに終了しました。

なお、懇談会に先立ち、日本道路協会道路功労者表彰の伝達式が行われ、平成29年度の道路功労者として近田拓司氏(日本道路(株)沖繩営業所)に表彰状と記念品が授与されました。



活発に意見交換を行う会場全景

### ②第133回 道路美化・清掃活動

第133回道路美化ボランティア活動を9月19日(火)に13社19名の参加で実施しました。久々の晴天で、夏休みも終わりに心なしか、陽ざしも和らいだきがします。これからも頑張りましょう。

